

(様式第1-2号)
完成工事高計算表

注)単位はすべて「千円」

工 種	基準決算前々期分			基準決算前期分			基準決算期分		
	元請負額	下請負額	計	元請負額	下請負額	計	元請負額	下請負額	計
01 土木一式工事 ①									
02 吹付工事									
吹付とび工事 ②									
工事吹付工事 ③									
内訳土工コンクリート工事等 ④									
一般土木 ①+④	⑤			⑥			⑦		
一般土木平均元請負額 $(⑥+⑦) \div 2$ 又は $(⑤+⑥+⑦) \div 3$									a
03 建築一式工事	⑧			⑨			⑩		
建築一式平均元請負額 $(⑨+⑩) \div 2$ 又は $(⑧+⑨+⑩) \div 3$									b
07 ほ装工事	⑪			⑫			⑬		
ほ装平均元請負額 $(⑫+⑬) \div 2$ 又は $(⑪+⑫+⑬) \div 3$									c

記載要領(様式1-1～様式1-2)

1. 「許可番号」の欄は、知事許可は「1」から大臣許可は「2」からそれぞれ記入すること。
2. 申請する工種に必ず○をすること。
3. 吹付工事の内訳を「とび工事②」「吹付工事③」「土工コンクリート工事等④」にそれぞれ記入すること。
4. 「最高元請負額」の欄は、基準決算日以前24ヶ月以内の範囲において記載すること。
5. 「平均元請負額」の欄は、様式1-2の完成工事高計算表のa、b、cの各数値を転記すること。
6. 年間平均完成工事高の合計額(コード99)は、コード01からコード00までの額を合計した数値を記載すること。
7. 「有資格技術職員数」の欄は、同一職員の同一系統の資格の記入については、いずれか優位な資格を一つ記入し、決して重複させないこと。
ただし、「ほ装」の申請をする場合における「土木施工管理技士」と「舗装施工管理技術者」は重複して記載可能です。